

特集 技能五輪を支えるスタッフの皆さん

昨年、技能五輪が復活し、選手1名、指導員1名のマンツーマン体制から、今年度は新たに選手2名、指導員補助2名増員により、技能五輪の取組みが強化されました。

また、新体制に伴い訓練スペースの拡張やフライス盤の追加導入など、訓練環境も大きく様変わりしております。技能五輪スタッフの一人として各々の選手が日々の鍛錬により自らの技能を伸ばし、成果ある活動につながるよう下支えをさせて頂きたいと思っております。



金型技術部 宮本部長

五輪選手を導く先輩2名(指導員補助)を紹介します！

【金型技術部】井田好春さん

◆機械組立て仕上げ職種

第36回(1998) 技能五輪群馬大会 **敢闘賞**
第37回(1999) 技能五輪静岡大会 **銅賞**
第38回(2000) 技能五輪埼玉大会 **銀賞**

<選手に一言>

全国大会を常に意識して、自分に**妥協しない訓練**と、**ものづくりの考え方**をマスターし、**達成感**を味わえるように努力を積み上げていこう！



【金型技術部】高橋アレキサンダーさん

◆抜き型仕上げ職種

第46回(2008) 技能五輪千葉大会
第47回(2009) 技能五輪茨城大会 **敢闘賞**

<選手に一言>

自分の**日々の生活**、行動がそのまま課題に出てくるので、**規律ある行動**を意識して訓練に励んでいこう！



◇自らの経験に基づいた活きたアドバイス・指導は訓練の質を高めるために欠かせないものです。また週末や連休などの訓練にも参加してもらい本当に助かります。(指導員:中山)

【選手から一言】

◎太田和希 選手

あっという間に半年が過ぎ、難易度の高い課題にも挑戦しています。今までの基礎を大切に、これからも頑張ります！

◎佐藤大昂 選手

約1ヶ月経ち生活環境にも慣れてきました。1ヵ月後の県代表になれるよう努力します！

◎佐藤正人 選手

約1ヶ月で多くの事を学びましたが、まだまだ力不足なので、今日よりも明日、明日よりも

管理統括部吉田課長

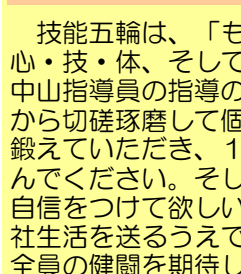


技能五輪運営委員の一人として、指導員ならびに選手に接する事ができ、大変名誉なことと思っております。選手や指導員の方々が、技能五輪に専念できる為の環境を今後も整えて参ります。

<選手に一言>

日々訓練の集大成は、7月5日に行われる埼玉県の予選を3名全員で突破して代表に選ばれる事です。代表に選ばれば厳しい訓練も報われ、第一目標も達成できるでしょう。厳しい訓練を経るなかで、人間的にも技術的にも大きく飛躍する事を期待しております。

FCS技能実践研修室 長谷部製造主任



技能五輪は、「ものづくりのシンボル」であり、心・体・そして、感性を磨く場でもあります。中山指導員の指導のもと、五輪生3人全員が日頃から切磋琢磨して個々人の技能レベルを極限まで鍛えていただき、12月の全国大会に向け取り組んでください。そして、大会で競い合い、戦える自信をつけて欲しい。この自信は今後の人生、会社生活を送るうえで必ずプラスになると思っています。全員の健闘を期待しています。

